



アウトリーチ型定着促進支援「合同研修 II」を開催しました

10月8日、看護管理者および活動メンバーを対象に「合同研修II」を開催しました。講義とグループワークを実施。6病院11名の参加者は、自病院の課題への取組みを振り返りながら、他施設との交流を図りました。

講義

テーマ：各病院の取り組み内容について
方向性や評価方法を確認しよう

講師：東京女子医科大学看護学部看護管理学
講師 國江 慶子

- ・「今年度の目標」に向かって取り組んでいるか
- ・取り組みは、組織の方向性と一致しているか
- ・変化した姿をどう測定・評価するのか
- ・評価時の、定量・定性評価の考え方等を学びました



グループワーク

看護管理者の方々は、講師を交え具体的な進め方を討議しました。
活動メンバーは、他病院との意見交換を通して交流を図りました。

発表



- ★看護管理者からは、「中途採用者の教育、モチベーション向上等は共通の課題であった」「一病院から看護部の考え方等を図式化した用紙の提示があり参考になった」
- ★活動メンバーからは「めざす姿を各自が自身の言葉で説明し、各病院の取り組み状況を共有しあった」「主任が変化するとスタッフのモチベーションが上がる、気付きを言語化し行動に移していくことが重要である」等の発表がありました。
- ★昨年度の支援病院からは「1年間の取り組みの紹介」があり、今年度参加病院には「大変参考になった」という感想がありました。

講師からのメッセージ

「今年度の目標」を職員に伝え、取り組む方向性を示す事が大切です。
各病院の特徴を活かして取り組んでいってください。

- <参加者の声>
- ・他病院の看護管理者との意見交換の機会が無い中で、同じ規模の病院職員との話し合いの場がありとても勇気づけられた。
 - ・どの病院も「めざす姿」に向かって頑張っていることがわかり励みになった。
 - ・様々な病院の取り組みを聞き、自病院へ応用できる方法を学ぶことができた。

参加者同士の活発な意見交換により、後半の活動に役立つ有意義な研修となりました。ご参加ありがとうございました。